RECOMMENDED ROUTES

ダイジェストで回る

日帰りのせでんルート

総所要時間：約4時間半（作品鑑賞時間を含まず）

のせでんを活用して、各アーティストの展示ハイライトを巡るルートです。

「川西能勢口」駅
↓ 電車（13分）
Ⓑ「一の鳥居」駅（渡邊朋也 a.k.a. なべたん記事掲出掲示板）
↓ 電車（13分）
「光風台」駅
↓ 徒歩（15分）
Ⓒ 光風台マイホームシアター（深澤孝史）
↓ 徒歩（20分）または阪急バス「光風台六丁目三号公園」乗車（7分）～「東ときわ台五丁目」バス停下車、徒歩（5分）
Ⓓ 東ときわ台5丁目1号公園（岡啓輔）
↓ 徒歩（25分）＊山沿いの遊歩道経由
Ⓑ「ときわ台」駅（渡邊朋也 a.k.a. なべたん記事掲出掲示板）
↓ 電車（2分）
「妙見口」駅
↓ 徒歩（8分）
Ⓔ ギャラリーたまや（井上亜美）
↓ 徒歩（15分）
Ⓐ 上杉池横の小屋～黒川駅への里道（ディエゴ・テオ注意エリア）
↓ 徒歩（15分）
妙見の森ケーブル「黒川」駅
Ⓔ 新瀧公民館（井上亜美）
↓ 徒歩（8分）
妙見の森ケーブル「黒川」駅
↓ ケーブルカー（5分）
妙見の森ケーブル「山上」駅
↓ 徒歩（5分）
妙見の森リフト「ふれあい広場」駅
↓ リフト（12分）
ⒻⒼⒽ 能勢妙見山（渡部睦子、ラヘズ・タリフ、コンタクト・ゴンゾ 11/9 山頂特別観覧席）

○シェアサイクルをご活用ください。
ポート設置場所(10/26–11/24)＝妙見口駅前、
妙見の森ケーブル黒川駅前、野間の大ケヤキ、知明湖キャンプ場
料金＝15分ごとに70円・12時間ごとに最大1,000円

全作品を回る

らくらく車ルート

総所要時間：約2時間40分（作品鑑賞時間を含まず）

車で全アーティストの展示を巡るルートです。

豊能町第1・第2総合駐車場 ※11/9-10使用不可
↓ 徒歩（17分）
Ⓓ 東ときわ台5丁目1号公園（岡啓輔）
↓ 徒歩（20分）
Ⓒ 光風台マイホームシアター（深澤孝史）
↓ 徒歩（20分）
Ⓑ「ときわ台」駅（渡邊朋也 a.k.a.なべたん記事掲出掲示板）
↓ 徒歩（20分）
豊能町第1・第2総合駐車場 ※11/9-10使用不可
↓ 車（20分）
Ⓐ 高代寺（ディエゴ・テオ注意エリア）※駐車場有
※未舗装道路。
↓ 車（15分）
「妙見口」駅前・かめたに駐車場
車（5分）↓ ↑ 徒歩（往復15分）
Ⓔ ギャラリーたまや（井上亜美）※駐車場なし
妙見の森ケーブル「黒川」駅 ※駐車場有
Ⓔ 新瀧公民館（井上亜美）
↓ 徒歩（8分）
Ⓐ 上杉池横の小屋～黒川駅への里道（ディエゴ・テオ注意エリア）
↓ 徒歩（15分）
妙見の森ケーブル「黒川」駅
↓ 車（約20分）＊野間の大ケヤキ前経由
ⒻⒼⒽ 能勢妙見山 ※駐車場有（渡部睦子、ラヘズ・タリフ、コンタクト・ゴンゾ 11/9 山頂特別観覧席）

※コインパーキングが少ないのでご注意ください。路上駐車はご遠慮ください。
※山道や、一部狭い道路幅が狭い道を通ります。十分に注意してご走行ください。

全作品を回る

エクストリーム徒歩ルート

総所要時間：約9時間（作品鑑賞時間を含まず）

避難訓練満載！全ての展示を巡るルートです。

「妙見口」駅 ／ 阪急バス「妙見口駅」
↓ バス（約14分）
「奥の院」バス停
↓ 徒歩（12分）
真如寺
↓ 徒歩（約5時間）＊登山開始
ⒻⒼ 能勢妙見山（渡部睦子、ラヘズ・タリフ）
↓ 徒歩（1時間）＊上杉尾根コース
Ⓐ 上杉池横の小屋～黒川駅への里道（ディエゴ・テオ注意エリア）
妙見の森ケーブル「黒川」駅
↓ 徒歩（5分）
Ⓔ 新瀧公民館（井上亜美）
↓ 徒歩（15分）
Ⓔ ギャラリーたまや（井上亜美）
↓ 徒歩（25分）＊高代寺道標を辿る
Ⓐ 高代寺とその周辺（ディエゴ・テオ注意エリア）
↓ 徒歩（20分）
「妙見口」駅
↓ 徒歩（30分）＊山沿いの遊歩道経由
Ⓓ 東ときわ台5丁目1号公園（岡啓輔）
↓ 徒歩（25分）
Ⓑ「ときわ台」駅（渡邊朋也 a.k.a. なべたん 記事掲出掲示板）
↓ 徒歩（20分）
Ⓒ 光風台マイホームシアター（深澤孝史）

※オススメ持ち物：動きやすい服装（ハイキング用）、水分、軽食、懐中電灯、携帯電話、予備バッテリー、虫よけ、雨具（合羽）
※許可のない場所での野宿やテント泊はお控えください。

テーマで歩く

新村落（ニュータウン）＆旧村落（キュータウン）コース

（渡邊朋也 a.k.a. なべたん 、岡啓輔 、深澤孝史作品）

新しいまち、古くから続くまち、それらを繋ぐ作品を楽しむコースです。

「川西能勢口」駅
↓ 電車（25分）
「妙見口」駅
↓ 徒歩（25分）＊山沿いの遊歩道経由
Ⓓ 東ときわ台5丁目1号公園（岡啓輔）
↓ 徒歩（20分）
Ⓑ「ときわ台」駅（渡邊朋也 a.k.a. なべたん記事掲出掲示板）
↓ 電車（2分）
「光風台」駅
↓ 徒歩（15分）
Ⓒ 光風台マイホームシアター（深澤孝史）

里山コース

（ラヘズ・タリフ 、渡部睦子 、井上亜美 、ディエゴ・テオ作品）

豊かな里山と、そこに設置された作品を楽しむコースです。

真如寺
↓ 徒歩（5時間）＊険しい山道を含む
ⒻⒼⒽ 能勢妙見山（渡部睦子、ラヘズ・タリフ、コンタクト・ゴンゾ 11/9 山頂特別観覧席）
↓ 徒歩
妙見の森リフト
↓ リフト（12分）＋徒歩（5分）
妙見の森ケーブル「山上」駅
↓ ケーブルカー（5分）
妙見の森ケーブル黒川駅 ／ Ⓔ 新瀧公民館（井上亜美）
↓ 徒歩（8分）
Ⓐ 黒川駅への里道～上杉池横の小屋（ディエゴ・テオ注意エリア）
↓ 徒歩（10分）
Ⓔ ギャラリーたまや（井上亜美）

ART PROJECT / PERFORMANCE

展示やパフォーマンスの他、トークや鑑賞ツアー、上映会などが開催されます。詳細は公式HPまで

Ⓐ「UBASTE」ディエゴ・テオ / Diego Teo

会場＝川西能勢口駅周辺［川西能勢口駅］、
高代寺周辺、上杉池横の小屋～黒川駅への里道［妙見口駅］他
時間＝10:00–17:00 ※作品により異なります

1978年メキシコ生まれ、オアハカ市在住。2002年から工業製品を使った立体作品等を発表。その後、先住民の集落でのフィールドワークや協働による作品制作など、見過ごされがちな社会集団との関わりによる社会実践を発展させている。2012年よりアーティスト集団「クラテル・インベルティド」としても活動し、注目を集める。彼は豊能町内で保護された熊に心を寄せ、印刷物、グラフィティ、パフォーマンス等多角的な制作活動を展開する。

Ⓑ「なべたんの極力直そうaround のせでん」渡邉朋也a.k.a. なべたん / Tomoya Watanabe a.k.a. Nabetanne

会場＝ときわ台［ときわ台駅］他、北摂台［一の鳥居駅］、
大和団地［畦野駅］でも順次公開予定
※地域の掲示板および公式HPにて連載あり（全4回予定）

1984年東京生まれ、山口県在住。コンピュータやコンピュータ以外のものを駆使し、ポストインターネット時代に開かれた認知にまつわる作品を制作。その発露は時におかしみを伴い、鑑賞者の笑いを誘う。今回はのせでん沿線の複数エリアの掲示板で、かつての人気連載が大復活。3Dプリンタ等デジタルファブリケーションの技術を駆使し、それぞれの街の小さな欠損を、頼まれてもいないのに修復する。

Ⓒ「NEW TOWN MY HOME THEATER」深澤孝史 / Takafumi Fukasawa

会場＝光風台マイホームシアター
（豊能町光風台6丁目7-14 ※駐車場なし）［光風台駅］
時間＝10:00–17:00
上映会＝11月23日（土）上映開始時間10:00 / 13:00 / 16:00

1984年山梨県生まれ、北海道在住。場や歴史、そこに関わる人の特性に着目し、他者と共にある方法を模索するプロジェクトを各地で展開、大文字の歴史に埋没しそうな個々人の歴史や価値観、視界を次々に引き出し、小さな未設の公共圏を醸成する。今回は、光風台の空き家となった一軒家を、住民たちとともに映画館に変えていく活動を通じて、この土地に通底する人々の営みと、他者へのまなざしを再生することを試みる。

Ⓓ「もう一度、グリグリと強い線を引く」岡啓輔 / Keisuke Oka

会場＝東ときわ台5丁目1号公園
（豊能町東ときわ台5丁目11 ※駐車場なし）そば
［ときわ台駅、阪急バス東ときわ台5丁目（光風台駅発）］
時間＝10:00–17:00

1965年福岡県生まれ、東京都在住。1988年高山建築学校に参加（現在は運営）。翌年上京以降、建設現場の様々な作業を経験。並行してダンサーとしての活動や「岡画郎」の運営を経て、「蟻鱒鳶ル（ありますとんびる）」の自力建設を開始、即興的な建設を続けている。彼の待望の新作は、東ときわ台の山際に、ニュータウンと里山のあいだに描きそびれた一本の線を、住民のみなさんとともに力強く描く。

Ⓔ「ミツバチの見た夢」井上亜美 / Ami Inoue

会場＝新瀧公民館［妙見の森ケーブル黒川駅］、
ギャラリーたまや［妙見口駅］
時間＝新瀧公民館10:00–17:00／
ギャラリーたまや10:00–16:00（月・水・金・土・日のみ）

1991年宮城県生まれ、宮城県丸森育ち、京都府在住。在学中に狩猟をはじめ、現場でつぎつぎに起こる出来事をエスノグラフィックな視点で見つめ、自身が出演・演出・記録する手法で映像作品を制作してきた。彼女は能勢妙見山周辺の養蜂家が育てるミツバチたちに出会い、その存在に魅せられた。ミツバチたちの繊細で社会的な生態と、彼らをとりまく世界を、その内側から静かに捉えていく。

Ⓕ「星見るひとたちと出会う旅」渡部睦子 / Chikako Watanabe

会場＝能勢妙見山 ブナ林、妙見山上駐車場面側の丘
（通称「稲荷山」）［妙見口駅、阪急バス奥の院］
時間＝月～金10:30–17:00 / 土日10:00–19:00
※ケーブル・リフト・バス の運行時刻にご注意ください。
※鑑賞ルートとして、真如寺～奥の院～能勢妙見山を
歩くことをおすすめしています。（所要時間約5時間）

1969年愛知県生まれ、オランダ・アムステルダム在住。世界各国の訪れた土地で、さまざまな文化やコミュニティの人々と出会い、「地元の人に何かを教えてもらう」ことを通じて制作を行う。現地で見つけたものから生まれた作品、そして多様な人々とのコラボレーションを通じて、土地の記憶と現実が交錯する「場」を創造している。今回、能勢妙見山を訪れた彼女は、海とのつながりを直観し、地元の子どもたちとの協働を通して、星を眺め、遠い海を越えて人々の暮らしを想わせるスケールの大きな旅を提案する。

Ⓖ「面向北方的方向，是回家的地方」拉黒子・達立夫（ラヘズ・タリフ）/ Rahic Talif

会場＝能勢妙見山 山上公園［妙見の森リフト妙見山駅］
時間＝月–金10:30–17:00 / 土日10:00–19:00
＊ケーブル・リフトの運行時刻にご注意ください。

1962年花蓮阿美（アミ）族港口部落出身。花蓮、台東を拠点に活動。専業作家として主に木の彫刻、装置、行為、建築、家具、部落文化の再生、原住民社会文化評論等の他、国内外の芸術展で活躍。作品は海洋文化と部落の伝統的な要素を含み、グローバルな問題への問いを投げかけ、民族間構造のほころびや社会環境の移ろいへの内省を呼び起こす。今回の作品名は「北方へ向かえば、そこは私の帰る場所」を意味する。彼は能勢妙見山に阿美族の伝説を呼び込み、月、太陽、星を主題に彫刻作品を制作する。

Ⓗ「from dusk till dawn」パフォーマンス コンタクト・ゴンゾ/contact Gonzo

会場＝山頂特別観覧会場＝能勢妙見山 よろずや
開演＝11月9日（土）19:00（コンタクト・ゴンゾ出発）
終演予定＝11月10日（日）9:00
山頂特別観覧チケット＝5,000円／定員＝25名
＊要事前予約（公式HPまで）予約期間＝10月1日–11月8日）
＊よろずやでのパフォーマンスのライブ中継観覧、スペシャルDJ、非常食付。

2006年、垣尾優と塚原悠也により結成。contact Gonzoは集団の名称であると同時に実践する方法論の名称でもある。ゆるやかにメンバーを入れ替えながら、現在は塚原悠也、三ヶ尻敬悟、松見拓也、NAZEの4名で活動。肉体の衝突を起点とする独自の牧歌的崇高論を構築し、即興的なパフォーマンスや、映像、写真作品、冊子の編集などを制作、国内外で活躍。今回は拠点である大阪市中津から能勢妙見山頂まで徒歩で夜行し、そこで待つ観客たちに気配と緊張をもたらす。

LOCAL PROJECT

12の地域プロジェクト参加団体によるイベント。アート展示とあわせてお楽しみください。

1 デコるヘッドマーク プロジェクトチーム

デコるヘッドマーク ワークショップ ～妙見の森ケーブル

鉄道のマストアイテムであるヘッドマークを能勢電鉄電車内で ワークショップ形式で制作しました。完成したヘッドマークは、のせでんアートライン2019会期中は妙見の森ケーブルに取り付けて運行し、イベントを盛り上げています。

日時＝10月26日（土）～11月24日（土）
会場＝妙見の森ケーブルで運行

2 一般社団法人 DOOR

いながわの森 活用プロジェクト

猪名川町の自然の豊かさを感じながら森の活用方法を探るプロジェクトです。日生中央駅近くにある森の中で、スウェーデントーチ体験、バーベキュー（各自食材持ち込み）、ハンモック、マウンテンバイクツーリング体験（レンタルバイクあり 有料）や、原木しいたけ狩り（有料）など子供も大人も1日楽しめる参加体験型のイベントを行います。

日時＝10月27日（日）10:00–16:00
会場＝猪名川町消防本部北側の山林
［阪急バス紫合東口］
＊参加申込等詳細は公式HP、または
一般社団法人DOORのHPまで

3 能勢なつかしさ推進協議会「GOING ON（恩）PROJECT」

野間の紅葉名所を〈五感〉で味わう小旅行

能勢町東郷地区を舞台に、地域住民とともに、子どもたちへの恩送りとして村の記憶や
風習を掘り起こし、それを体験プログラム化する取組み。のせでんアートライン2019では、野間の大ケヤキを皮切りに住民イチオシの紅葉スポットを探索、「雑木の庭」と一体になったレストラン「野間の森 MIGIWA」で一流シェフの食事を堪能します。

日時＝11月1日（金）11:30–15:00
会場＝野間の大ケヤキ西側・
懐かしさの杜集合［阪急バス稲地］
参加費＝6,000円（食事付）
定員＝20名 ※要事前申込（公式HPまで）

4 能勢妙見山

能勢妙見山芸能上達プロジェクト

参拝者に“進むべき道を指し示す”とされる能勢妙見山で、芸能上達を志す人を応援するプロジェクト。芸能上達の御祈祷を受けたアーティストがさらなる芸能上達を目指して妙見さまに奉納し、その後、「星嶺」にて大衆向けにライブを行います。詳細は公式HP・能勢妙見山HPで紹介します。

日時＝11月10日（日）
①11:00–／②14:00–
会場＝能勢妙見山 信徒会館「星嶺」
［妙見の森リフト妙見山駅］
出演＝①古川真穂、加美幸伸／②里猫クレマ
※要事前申込（公式HPまで）、定員あり

5 里山ベース ハナビ「里山バンクプロジェクト」

地方創生2.0会議 ～地方に面白い人が集まり、新たな可能性を生む～

里山の「ヒト・モノ・コト」を見える化し、面白いことを仕掛ける人を増やす「里山バンクプロジェクト」。奈良県東吉野村に移住しシェアオフィスを運営する坂本大祐さんと、愛知県名古屋市でシェアハウスを営む水谷岳史さんのお二人をお招きし、シェアリングエコノミーが生む地域の新たな可能性について考える座談会を開催します。

日時＝11月15日（金）19:00–21:30
会場＝里山ベース ハナビ［妙見口駅］
参加費＝3,000円
※懇親会の食事代含む、別途宿泊可
※要事前申込（公式HPまで）、定員あり

6 社会福祉法人 豊悠福祉会「祥雲館町おこしプラザ」

森の芸術祭

「祥雲館町おこしプラザ」は福祉を通じて町を元気にするプロジェクト。のせでんアートライン2019の期間中は、「森の芸術祭」を開催。影絵劇団おととえ座公演やプロジェクションマッピング、のせでんアートライン2017プロデューサー友井隆之による行灯づくりワークショップなどを行います。

日時＝11月17日（日）
15:00–18:30
会場＝社会福祉法人 豊悠福祉会 本館
［妙見口駅］

7 NPO法人 大きな樹・能勢銀寄「東郷地域お店づくりプロジェクト」

能勢かほる ― のせマルシェ

地域に一軒でもお店が増えることを願い、地元食材を使った加工品のお店に加えて、能勢に関心があるこだわりのお店が出され、いろいろな飲食、手づくり品が集まる「のせマルシェ」。先人たちの知恵の詰まった冬支度のワークショップなども開催します。

日時＝11月23日（土）10:00–15:00
会場＝野間の大ケヤキ周辺［阪急バス稲地］

8 認定NPO法人 箕面こどもの森学園

能勢かほる ― キッズワークin 里山～里山でお仕事、手作り、腹いっぱい～

里山で、しめ縄づくり、干し柿づくり、竹箒づくり、棒パンなど、親子向けのワークショップやお仕事体験ができるイベントです。体験に参加するともらえる「イベント通貨」は、同時開催している「のせマルシェ」にてご利用が可能です。いろんな里山を体感してください。

日時＝11月23日（土）10:00–15:00
会場＝野間の大ケヤキ西側・
懐かしさの杜［阪急バス稲地］

9 Beekeeper 和田隆「未来の養蜂家（Beekeeper）プロジェクト」

能勢かほる ―蜜蜥を使った商品づくり ワークショップ

未来のBeekeeperを探すと同時に、採れたハチミツの販路開拓、ハチミツや蜜蜥を原料とする商品開発などを行うプロジェクト。「のせマルシェ」「キッズワークin里山」に合わせて、蜜蜥ろうそくや蜜蜥ラップ、蜜蜥ワックスなど、蜜蜥を使った商品づくりワークショップを開催します。

日時＝11月23日（土）10:00–15:00
会場＝野間の大ケヤキ西側・
懐かしさの杜［阪急バス稲地］
※その他のプロジェクトの開催情報は
公式HPにてお知らせします。

10 一反三畝（いったんさんせ）「能勢ブリュワリー創設プロジェクト」

野間の大ケヤキと星空を楽しむ、ホット麦茶とお茶漬けの会

麦やホップや水を地元産で賄うための仕組みを作り、クラフトビールを能勢の環境で育むプロジェクト。のせでんアートライン2019では、野間の 大ケヤキ と星空の元で、麦茶焙煎をして夜を迎える体験型ワークショップを開催します 。

日時＝11月23日（土）18:00–22:00
会場＝野間の大ケヤキ北西・
向井燃料店［阪急バス稲地］
定員＝20名
参加費＝3,000円
＊要事前申込（公式HPまで）

11 市民団体 machiomoi

tocotocoマルシェ

のせでん沿線の人と人、それぞれの想いをつなぐマルシェを開催します。地域の地産商品やフード、作家たちとの出会いの場。それらを知ってもらうことで、日々の暮らしをより楽しんでもらうきっかけをつくります。

日時＝11月24日（日）10:00–16:00
会場＝妙見口駅前・かめたに 本店
駐車場［妙見口駅］

12 とよのわたし研究室「豊能町で暮らす女性の“生き方”応援プロジェクト」

自分らしさ度チェック

「自分らしさ度チェック」は、そのときの自分らしくない原因を探ることで自分らしさをアップさせるためのプログラム。2019年は300人の町民へのプログラム提供を目指し、アートライン期間中は豊能町の地域イベントや福祉機関などとも連携しながら展開していきます。

日時＝11月24日（日）10:00–16:00
会場＝tocotocoマルシェで
ブース出店［妙見口駅］
※その他、豊能町の様々な場所で開催。
詳細は 公式HP にてお知らせします。